

# 令和8年度 学校パワーアップ全体構想

## 学校パワーアップのための基本方針

「生徒一人ひとりの居場所があり、安心して学べる学校」の実現に向け、家庭・地域・諸機関・学校が一体となった教育活動を推進し、知・徳・体、調和のとれた生徒の育成を行う。

カリキュラムマネジメントの視点をもって教育課程を実施し、「主体的・対話的（協働的）で深い学び」を推進するとともに、次の世代の人材育成の基礎を創る。



## 学校パワーアップ事業の各事業内容

### 学力向上マニフェスト

#### ○ 夢につながる主体的な学びを推進する

##### ・基礎学力の定着

区学力調査の結果から1・2年生の数学の基礎基本の定着に課題があり、基礎補充用教材や都立入試対策問題集を取り入れた授業や放課後補充教室を通じて基礎的な学力の定着を図る。

##### ・英語教育の充実

音読学習アプリを活用し、オーラルコミュニケーション能力の向上を図る。

##### ・国際コミュニケーション能力の育成

TGG体験をとおして、中学校英語の総復習と国際化社会におけるコミュニケーション能力の育成を図る。

### 創造力あふれる教育の推進

#### ○ こころとからだの健全な育成を図る

・心理教育検査（Q.U.、ハイパーQ.U.）を実施するとともに、分析方法や対応についての研修を行い、個に応じた指導を組織的に実践することで生徒の健全育成を図る。

#### ○ 体験的な学習活動をとおしてよりよい未来社会を築く

・落語の体験や和楽器奏者の演奏、実技指導をとおして、日本の伝統・文化への関心・意欲を高める。

#### ○ 良好な教育環境と体制を整える

・合唱コンクールに向けて、直接音楽家の指導を受けるとともに、本格的なホールを使用することで音楽に関する関心・意欲の向上と情操教育の充実を図る。

### 未来を拓く子どもの育成

#### ○ 学校図書館の活用

・調べる学習コンクールへの取組を充実させ生徒の資料活用能力を向上させる。

#### ○ キャリア教育の充実

・1年生で校内ハローワーク、2年生で勤労留学、3年生でライフプランニングを実施することで、生徒の職業観の醸成を図る。

#### ○ 教育環境の整備

・ボランティア部員を中心に季節に応じた植栽をし、愛校心や自然愛護の精神の育成を図る。

#### ○ 体力向上

・動きやすい体づくりや転倒防止の運動の仕方を学び、体力向上への実践力を高める。

#### ○ 読書活動の推進

・児童文学作家を招聘し、講演会を実施し、読書に関する啓もう活動を行う。

### あらかわ寺子屋

定期考査前の総復習、検定取得の授業を行い、基礎学力の定着を目指す。

・検定寺子屋・定期考査寺子屋・放課後寺子屋